

## ふくいの先人たち ミニ事典 収録人物一覧

		生没年	業績	ゆかりの地域	既刊掲載巻	備考
1	男大迹王(継体大王)	450?~531	古墳時代の大王(天皇)。即位前に越国で過ごした。	福井市・坂井市・越前市	4	
2	都怒我阿羅斯等	?~?	朝鮮半島から日本に来たとされる伝説上の人物。	敦賀市	4	
3	泰澄	682?~767?	奈良時代の僧。白山で修行し、白山の神仏を感じ取ったとされている。	勝山市・福井市・越前町	4	
4	中臣 宅守	?~?	奈良時代の歌人。罰せられて越前国へ流された。	越前市	4	
5	狭野 茅上娘子	?~?	奈良時代の歌人。中臣宅守と和歌を交わした。	越前市	4	
6	紫式部	970年代~1010年代	平安時代の作家、歌人。「源氏物語」を執筆。	越前市	4	
7	二条院讃岐	1141?~1217?	平安~鎌倉時代の歌人。「沖の石」の和歌をよんだ。	小浜市	4	
8	道元	1200~1253	鎌倉時代の禅僧。曹洞宗を開き、永平寺を建てた。	永平寺町	4	
9	新田 義貞	1301?~1338	鎌倉~南北朝時代の武将。越前国で北朝と戦った。	福井市・南越前町・敦賀市	4	
10	蓮如	1415~1499	室町時代の浄土真宗の僧。吉崎で教えを説いた。	あわら市	4	
11	朝倉 孝景	1428~1481	室町時代の武将。戦国大名朝倉氏初代の当主。	福井市	4	
12	朝倉 義景	1533~1573	戦国時代、越前国の大名。朝倉氏第5代当主。	福井市	4	
13	お市	1547?~1583	安土桃山時代。織田信長の妹。柴田勝家の妻。	福井市	4	
14	柴田 勝家	1522?~1583	安土桃山時代の武将。織田信長の家臣、北庄城主。	福井市	4	
15	本多 重次	1529~1596	安土桃山時代の武将。「日本一短い手紙」を書いた。	坂井市	4	
16	本多 成重	1572~1647	江戸時代の大名、本多重次の子。丸岡藩の初代藩主。	坂井市	4	
17	大谷 吉継	1565?~1600	安土桃山時代の武将。豊臣秀吉の家臣。敦賀城主。	敦賀市	4	
18	粟屋 勝久	?~1585	戦国時代。若狭国の武将。佐柿国吉城を築き、朝倉氏の攻撃を退けた。	美浜町	4	
19	生江 東人	?~?	奈良時代。東大寺領荘園を開き、のちに足羽郡大領として桑原荘や道守荘を経営した。	福井市	4	
20	生江 家道女	?~?	奈良時代。女性仏教信者。聖武天皇の一周忌に母とともに多くの経典を東大寺に納めた。	福井市	4	

## ふくいの先人たち ミニ事典 収録人物一覧

		生没年	業績	ゆかりの地域	既刊掲載巻	備考
21	瓜生 保	?~1337	南北朝時代。杣山城を本拠地とした武将。北朝方から転じて新田義貞の軍を助けた。	南越前町	4	
22	大町 如道(如導)	?~1340	鎌倉~南北朝時代の浄土真宗の僧。専修寺(専照寺)を建て、越前三門徒派の基礎を築いた。	福井市	4	
23	金森 長近	1524~1608	安土桃山時代の武将。織田信長に仕え大野城を築き、大野町を整えた。	大野市	4	
24	見玉尼	1448~1472	室町時代。蓮如の次女。強い信仰心により吉崎で極楽往生を遂げたという。	あわら市	4	
25	三光坊	?~?	戦国時代、平泉寺の能面師。名人のひとりに数えられ、大野出目家や越前出目家の祖とされる。	勝山市	4	
26	柴田 勝豊	?~1583	安土桃山時代の武将。柴田勝家の甥。現存最古の天守を持つ丸岡城を築いた。	坂井市	4	
27	真盛	1443~1495	室町時代。天台宗真盛派を開いた僧。引接寺を建て越前国内に教えを広めた。	越前市	4	
28	武田 信賢	1420~1471	室町時代、若狭国守護大名。青井山に城を築き、若狭支配の基礎をつくった。	小浜市	4	
29	谷野 一栢	?~?	僧、医者。朝倉氏に招かれ、一乗谷で中国の医学書『八十一難経』を校正、出版した。	福井市	4	
30	千代鶴 国安	?~?	南北朝時代の刀工。刀鍛冶の技術を鎌に取り入れ、越前打刃物(越前鎌)を始めた。	越前市	4	
31	東尋坊	?~?	平泉寺の悪僧と伝える。乱暴を理由に海に突き落とされ、名称東尋坊の名前の由来となった。	勝山市・坂井市	4	
32	中原氏女	?~1284	御家人脇袋範継の妻。裁判により、太良荘内の領地を納める権利を勝ち取った。	小浜市	4	
33	畑 時能	?~1341	南北朝時代の武将。鷹巣城や伊知地域に陣取り、最後まで北朝方を相手に戦った。	福井市・勝山市	4	
34	藤原 利仁	?~?	平安時代の貴族、武将。敦賀の豪族有仁の娘婿。『今昔物語』の「芋粥」説話に登場する。	敦賀市	4	
35	振媛	?~?	古墳時代の豪族の娘。とても美しかったため、彦主人王から求婚され、男大迹王を生んだ。	坂井市	4	
36	逸見 昌経	?~1581	戦国時代、若狭国の武将。高浜城を築き、戦国大名武田氏と戦った。	高浜町	4	

## ふくいの先人たち ミニ事典 収録人物一覧

		生没年	業績	ゆかりの地域	既刊掲載巻	備考
37	真柄 十郎左衛門	?~1570	朝倉義景の家臣。日本一の大太刀を手にし、姉川(滋賀県)の合戦で活躍した。	越前市	4	
38	益田 縄手	?~?	奈良時代の役人。大工(技術官人)として東大寺や石山寺の設計、工事を監督した。	福井市	4	
39	桃井 直詮	?~?	南北朝時代の武将桃井直常の子孫。勇壮な幸若舞を始めた。丹生郡朝日村に領地があった。	越前町	4	
40	結城 秀康	1574~1607	江戸時代の大名。徳川家康の子。福井藩の初代藩主。	福井市	2	
41	岩佐 又兵衛	1578~1650	江戸時代初期の画家。北庄で活躍した。	福井市	2	
42	近松 門左衛門	1653~1724	江戸時代、浄瑠璃・歌舞伎の台本作家。	鯖江市	2	
43	夢楽洞 万司	1719~?	江戸時代の画家。町絵師工房「夢楽洞」を始めた。	福井市	2	
44	京極 高次	1563~1609	安土桃山~江戸時代の武将、大名。京極氏小浜藩の初代藩主。	小浜市	2	
45	お初(常高院)	1568?~1633	安土桃山~江戸時代、浅井三姉妹の次女。京極高次の妻。	福井市・小浜市	2	
46	酒井 忠勝	1587~1662	江戸時代、酒井家小浜藩の初代藩主。幕府の老中、大老。	小浜市	2	
47	行方 久兵衛	1616~1686	江戸時代の小浜藩士。三方五湖に浦見川を掘った。	美浜町・若狭町	2	
48	松木 庄左衛門	1625?~1652?	江戸時代の庄屋。義民として尊敬されている。	若狭町	2	
49	杉田 玄白	1733~1817	江戸時代の医者、蘭学者。「解体新書」を出版。	小浜市	1,2	
50	井関 園次	1784-1847	上浄法寺村の農民。用水を引いて新田を開き、義民としてあがめられた。	永平寺町	2	
51	伊藤 正作	1779-1864	河原市村の庄屋。農学者。農業指導書『耕作早指南種稽歌』を著した。	美浜町	2	
52	伊藤 坦庵	1623-1708	福井藩の儒学者。藩の学問(朱子学)が盛んになる基礎を築いた。	福井市	2	
53	井上 翼章	1753-1820	福井藩士。国学者。地理書『越前国名蹟考』や歴史書『越藩史略』を著した。	福井市	2	
54	打它 宗貞	1559-1643	糸屋と号した敦賀の豪商。京極氏・酒井氏に敦賀代官としても仕えた。	敦賀市	2	
55	越前 康継	1554-1621	結城秀康に仕えた刀工。子孫も代々、福井で刀鍛冶となった。	福井市	2	
56	功存	1720-1796	浄土真宗平乗寺の僧侶。『願生婦命弁』など多くの著作を残した。	鯖江市・福井市	2	

# ふくい先人たち ミニ事典 収録人物一覧

		生没年	業績	ゆかりの地域	既刊掲載巻	備考
57	佐々木 小次郎	?~1612	剣術家。越前に生まれ、宮本武蔵と決闘して敗れたと伝えられる。	福井市・越前市	2	
58	砂村 新左衛門	1601-1667	土木技術者。三国、大坂、江戸などで新田開発に取り組んだとされる。	鯖江市・坂井市	2	
59	大道	1768-1840	浄土真宗の僧侶。三里浜を砂の害から守るために植林を行った。	福井市・坂井市	2	
60	高橋 梨一	1714-1783	丸岡藩士。俳人。蓑笠庵と号して、松尾芭蕉の研究をした。	坂井市	2	
61	橘 宗賢	1719-1801	福井城下の豪商。医者。福井城下の出来事を記した数十年分の記録を残した。	福井市	2	
62	綱	1756-1769	漁師の娘。幼児を狂犬から救って身代わりに亡くなり、石碑が建てられた。	小浜市	2	
63	豊田屋 哥川	1716-1776?	三国の女性俳人。代表作は「奥底の しれぬ寒さや 海の音」。	坂井市	2	
64	東条 義門	1786-1843	国学者。僧侶。本居宣長の国語学を独学で研究し、文法の基礎をつくった。	小浜市	2	
65	中川 淳庵	1739-1786	医者。蘭学者。博物学者。杉田玄白と共に『解体新書』を出版した。	小浜市	2	
66	長曾禰 虎徹	1605?-1678?	甲冑師、刀工。江戸時代一の名工とうたわれた。	福井市	2	
67	本多 富正	1572-1649	福井藩家老。結城秀康に仕え、府中(武生)を預かり、町を整備した。	越前市	2	
68	橋本 長兵衛	?-1625	敦賀の絵師。鷹絵を得意とした。二代長兵衛の鷹絵は日光東照宮に奉納された。	敦賀市	2	
69	花倉 智鏡尼	1729-1806	中野家の豪農の妻。夫を亡くしたが、家を盛り立て、教訓を残した。	大野市	2	
70	伴 信友	1773-1846	小浜藩士。国学者。本居宣長没後の弟子で、歴史や神話、文学を研究した。	小浜市	2	
71	三田村 掃部	?-1643	紙すき業。結城秀康から奉書紙職に任命される。福井藩と幕府の御用紙を納めた。	越前市	2	
72	松平 春嶽(松平慶永)	1828~1890	幕末の福井藩主。幕府の政事総裁職。	福井市	3	
73	橋本 左内	1834~1859	幕末の福井藩士、思想家。「啓発録」を執筆した。	福井市	3	
74	由利 公正	1829~1909	幕末の福井藩士。明治政府の財政担当。東京府知事。	福井市	3	
75	中根 雪江	1807~1877	幕末の福井藩士。松平春嶽の側近に仕えた。	福井市	3	
76	吉田 東篁	1808~1875	幕末の福井藩士。儒学者。多くの弟子を育てた。	福井市	3	

## ふくいの先人たち ミニ事典 収録人物一覧

		生没年	業績	ゆかりの地域	既刊掲載巻	備考
77	横井 小楠	1809～1869	幕末の熊本藩士、政治思想家。福井藩の政治を指導した。	福井市	3	
78	佐々木 長淳	1830～1916	幕末の福井藩士。明治政府の技術官僚。	福井市	3	
79	笠原 白翁	1809～1880	幕末、福井城下の医者、蘭学者。種痘を広めた。	福井市	3	
80	橘 曙覧	1812～1868	幕末、福井城下の歌人。国学者。「独楽吟」をよんだ。	福井市	3	
81	日下部 太郎	1845～1870	幕末の福井藩士の子。藩最初のアメリカ留学生。	福井市	3	
82	W.E.グリフィス	1843～1928	明治時代のアメリカ人教師。福井藩校で教えた。	福井市	3	
83	土井 利忠	1811～1868	幕末の大野藩士。藩の改革に取り組んだ。	大野市	3	
84	内山 良休	1807～1881	幕末の大野藩士。大野屋をつくり、財政を建て直した。	大野市	3	
85	内山 隆佐	1813～1864	幕末の大野藩士。北海道・樺太を開拓した。	大野市	3	
86	間部 詮勝	1804～1884	幕末の鯖江藩主。幕府の老中。嚮陽溪を開いた。	鯖江市	3	
87	梅田 雲浜	1815～1859	幕末の小浜藩士。尊王攘夷の考えを広めた。	小浜市	3	
88	川渡 甚太夫	1807～1872	幕末の船頭。うなぎ販売や海運業などの仕事につき、波乱の一生を自伝に書き残した。	美浜町	3	
89	浅田 新右衛門	?～?	三国道実島の鋳物師。福井藩の命で江戸の鋳物師の伝習を受け西洋式の大砲を製造した。	坂井市	3	
90	伊藤 慎蔵	1825～1880	蘭学者。大坂の適塾から大野藩に招かれ、蘭学振興の中心となった。	大野市	3	
91	内田 惣右衛門	1824～1852	三国の豪商。福井藩の札所元締。藩財政再建に協力し、貧困者救済にもつとめた。	坂井市	3	
92	内海 元紀	1812～1896	四条派の絵師。「敦賀津図」や『敦賀十勝』を描く。養父の元孝、子の吉堂も絵師。	敦賀市	3	
93	大岩 圭一	1810～1862	福井の町医師。蘭学者。笠原白翁らと医学を研究し、のちに松平春嶽の侍医となった。	福井市	3	
94	岡倉 覚右衛門	1820～1896	福井藩士。横浜の福井藩商館石川屋や越州屋を任される。岡倉天心は長男。	福井市	3	
95	木村 庄之助(13代)	1808～1879	桶屋成田家の次男。江戸大相撲の立行司「木村庄之助」を襲名した。	越前市	3	

## ふくいの先人たち ミニ事典 収録人物一覧

		生没年	業績	ゆかりの地域	既刊掲載巻	備考
96	儀山 善来	1802～1878	臨済宗の僧。妙心寺(京都府)の管長。天皇から仏国興盛禅師の号を賜った。	おおい町	3	
97	久保 庄右衛門	?～?	鷺塚村の豪農。木綿や生糸の販売等で富を築き、諸藩に多額のお金を貸した。	坂井市	3	
98	酒井 忠義	1813～1873	小浜藩主。幕府の京都所司代。井伊直弼の命により安政の大獄を指揮した。	小浜市	3	
99	島 雪斎	1820～1879	三国の木彫師。寺社の装飾や置物・根付などのすぐれた作品をのこした。	坂井市	3	
100	関 義臣	1839～1918	府中本多家家臣。海援隊に加わる。徳島県・山形県知事等を歴任した。	越前市	3	
101	寺川 庄兵衛	1811～1856	商人。イネを脱穀する道具「千歯こき」を改良し、早瀬をその産地に育てた。	美浜町	3	
102	長谷部 恕連	1818～1873	福井藩士。横井小楠の富国論にもとづき、藩の財政改革を進めた。岐阜県令。	福井市	3	
103	林 毛川	1801～1858	勝山藩家老。藩政改革を進め、人材の育成、産業の発展に努めた。	勝山市	3	
104	松井 耕雪	1819～1885	府中の打刃物問屋。立教館設立のために協力した。福井藩の惣会所惣代。	越前市	3	
105	三国 大学	1810～1896	儒学者。公家鷹司家に仕える。尊王攘夷運動を進め、安政の大獄で処分された。	坂井市	3	
106	水屋 長三郎	1826～1874	府中商人。近江から技術を取り入れて蚊帳製造を始め、越前を特産地にした。	越前市	3	
107	三好 助右衛門	1819～1889	服城下の新興商人。長崎に福井屋を開き、生糸交易を担った。	福井市	3	
108	村田 氏寿	1821～1899	福井藩士。横井小楠招聘の死者となり、藩政改革につとめた。足羽県参事	福井市	3	
109	八木 静修	1809～1858	国学者。福井城下で国学が盛んになるきっかけをつくり、小浜でも藩士らに教えた。	福井市・小浜市	3	
110	渡辺 静庵	1811～1880	府中の医者。西洋学を学び、笠原白翁の種痘に協力した。渡辺洪基は長男	鯖江市・越前市	3	
111	井手 直子	1816?-1904	橘曙覧の妻。三国の油商酒井清兵衛の次女。曙覧の貧しい生活を支えた。	福井市	3	
112	木戸 松子	1843-1886	小浜藩士木崎市兵衛の娘。桂小五郎(木戸孝允)の活動を助け、妻となった。	小浜市	3	

## ふくいの先人たち ミニ事典 収録人物一覧

		生没年	業績	ゆかりの地域	既刊掲載巻	備考
113	橋本 梅尾	1814-1882	福井藩医橋本長綱の妻。夫の死後、左内、綱維、綱常の三兄弟らを育てた。	福井市	3	
114	福島 恵喜子	?-1849	丸岡藩士福島義衛の母。歌人。四国八十八か所の土を持ち帰り、新霊場を開いた。	坂井市	3	
115	芳野 菅子	1837-1915	福井藩奥女中。橘曙覧に和歌を学ぶ。松平春嶽の政治活動を支えた。	福井市	3	
116	ゑん	1817-?	肴屋与兵衛の妻。夫が出かせぎから戻らないなか、病気の義母に孝養をつくした。	福井市	3	
117	松旭斎 天一	1853~1912	明治時代の奇術師。日本奇術界の基礎を築いた。	福井市	5	
118	大和田 荘七	1857~1947	明治~昭和の実業家。敦賀港を整備した。	敦賀市	5	
119	岡倉 天心(岡倉 覚三)	1862~1913	明治~大正の美術教育者、思想家。	福井市	5	
120	藤野 巖九郎	1874~1945	明治~昭和時代の教育者、医者。魯迅を指導した。	あわら市	5	
121	杉田 定一	1851~1929	明治~昭和時代の政治家。自由民権運動を指導した。	福井市	5	
122	岡田 啓介	1868~1952	明治~昭和時代の海軍軍人、政治家。内閣総理大臣。	福井市	5	
123	佐久間 勉	1879~1910	明治時代の海軍軍人。沈没した潜水艇で遺書を残した。	若狭町	5	
124	杉原 千畝	1900~1986	昭和時代の外交官。「命のビザ」を発行して、約6000人のユダヤ人を救った。	敦賀市	5	
125	林 歌子	1864~1946	明治~昭和時代の社会事業家。キリスト教を信仰し、みなしごや不幸な女性に救いの手を差し伸べた。	大野市	5	
126	禿 すみ	1876~1950	明治~昭和時代の教育者。福井仁愛会教園(のちの仁愛女子高等学校)を作った。	福井市・鯖江市	5	
127	奥 むめお	1895~1997	大正~昭和時代の婦人運動家。参議院議員。	福井市	5	
128	渡辺 洪基	1847~1901	明治時代の教育者、外交官、政治家。帝国大学初代総長。	越前市	5	
129	石塚 左玄	1851~1909	明治時代の陸軍薬剤監。「食育」の提唱者。	福井市	5	
130	佐々木 忠次郎	1857~1938	明治~昭和時代の昆虫学者、養蚕学者。	福井市	5	
131	釈 宗演(洪嶽 宗演)	1859~1919	明治~大正時代の臨濟宗の僧。世界に禅を広めた。	高浜町	5	

## ふくいの先人たち ミニ事典 収録人物一覧

		生没年	業績	ゆかりの地域	既刊掲載巻	備考
132	橋本 進吉	1882～1945	大正～昭和時代の国語学者。日本の国語学の基礎を築いた。	敦賀市	5	
133	ジョルジ・アルノルド・エッセル	1843～1939	明治時代オランダ人技術者。西洋式捨石防波堤(九頭竜川河口国重要文化財)	坂井市	5	
134	細井 順子	1842～1918	明治時代の製織技術の指導者。織維王国ふくいの基礎を築く	福井市	5	
135	増永 五左エ門	1871～1938	明治～昭和時代の実業家。眼鏡製造業を根付かせる	鯖江市	5	
136	大森 房吉	1868～1923	明治～大正時代の地震学者。世界の地震研究のさきがけ	福井市	5	
137	市川 新松	1868～1941	明治～昭和時代の鉱物学者。独学で研究を進め世界的な鉱物学者となった	福井市・越前市	5	
138	山川 登美子	1879～1909	明治時代の歌人。「白百合の君」と呼ばれた『明星』の歌人	小浜市	5	
139	坪川 信一	1887～1962	昭和時代の実業家。福井初の百貨店「だるま屋」を経営	福井市	5	
140	島田 墨仙	1867～1943	明治～昭和時代の日本画家。橋本左内の肖像画で知られる歴史人物画家	福井市	5	
141	雨田 光平	1893～1985	大正～昭和時代の彫刻家、音楽家。彫刻と音楽二つの分野で美を追求した芸術家	福井市・越前町	5	
142	石墨 慶一郎	1921～2001	昭和時代のイネの育種家。コシヒカリの生みの親	坂井市	5	
143	水野 九右衛門	1921～1989	昭和時代の越前焼研究者、高校教員。越前焼の名を全国に広める	鯖江市・越前町	5	
144	秋山 徳蔵	1888～1974	大正～昭和時代の料理人。フランスで料理を修行し、帰国後宮内省大膳職厨司長。60年近く皇室の料理を担当。	越前市	6	NEW!
145	伊藤 柏翠	1911～1999	昭和時代の俳人。森田愛子の縁で三国に移住。全国的な俳句雑誌「花鳥」を主宰。	坂井市・鯖江市	6	NEW!
146	岡本 一抱	1686～1754	江戸時代中期の漢方医。近松門左衛門の弟。医学のわかりやすい解説書を多数著わした。	福井市・鯖江市	6	NEW!
147	水上 勉	1919～2004	昭和～平成時代の小説家。「雁の寺」で直木賞受賞。	おおい町	6	NEW!
148	森田 愛子	1917～1947	三国の俳人。伊藤柏翠に出会い、俳句を始めた。高浜虚子に師事。	坂井市	6	NEW!
149	吉田 一貞	?～?	江戸時代前期の鍼医。四代將軍家綱の鍼治療のため、江戸に呼ばれた記録が残る。	福井市	6	NEW!
150	吉田 健三	1849～1889	明治時代の実業家。「東京日日新聞」や日本初の電灯会社の設立に関与。吉田茂の義父。	福井市	6	NEW!

## ふくいの先人たち ミニ事典 収録人物一覧

		生没年	業績	ゆかりの地域	既刊掲載巻	備考
151	脇屋 義助	1301～1342	鎌倉～南北朝時代の武将。新田義貞の弟。義貞死後、越前における南朝軍の総大将。	南越前町	6	NEW!
152	和田 維四郎	1856～1920	明治～大正時代の鉱物学者。日本人初の鉱物学の教授。	小浜市	6	NEW!